

宇都宮市立富士見小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
相手意識や目的意識を大切に言語活動の工夫(外国語活動)	・児童の興味・関心を高め、伝えたい思いを引き出すための場面設定や教材の工夫 ・満足感や達成感を味わえる活動、目的や伝え合う必然性のある活動の設定 ・スモールステップを踏んだ単元展開の工夫	・「外国語が好きですか」の設問で、肯定割合が市の割合を、どの学年においても、3.0～10.3ポイント上回っている。
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	・各学年ごとに「家庭学習のすすめ」を配布して、学習時間の目安や取り組み例を示し、主体的に取り組めるようにする。 ・スタンダードダイアリーを活用して家庭学習時間をチェックしたり、家庭学習強化週間を実施し、意識の向上を図ったりする。	・「普段、学校の授業以外に、1日どれくらい学習していますか(平日)」の設問で、学校で設定している目標時間である1時間を超えている割合が、市の平均より5年生で16ポイント、6年生で3.1ポイント上回っている。また、1～4年生についても、目標時間を達成している割合が、80%を超えている。 ・「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」の肯定的回答は、3～6年生で約77%である。

★市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・6年生の学習内容定着度調査では、4教科とも市の正答率を上回っている。しかし、自分の考えを書いたり、問題の解き方を説明したりする問題では、正答率が低いこともある。次年度は、全学年において、自分の考えをもち表現する指導を充実させていく。
- ・「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」の設問で、肯定的回答の割合は、81～95%であり、「学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」の設問で、肯定的回答の割合は、86～98%であった。肯定的回答の割合は高いものの、学年によってばらつきもあった。次年度も、教材研究をもとに、児童の実態に合った分かる授業を展開し、学習への意欲を高めていきたい。
- ・「宿題はきちんとやり、期限までに提出している」の設問で、ほぼどの学年も肯定的回答の割合が90%を超えていた。しかし、「新しく習ったことは繰り返し練習している」の設問で、肯定的回答の割合は、63%～90%であり、「授業で習ったことを、その日のうちに復習している」の設問で、肯定的回答の割合は、3年生以上で約50～80%であった。復習の大切さを意識付けるとともに、学年の成長に合わせて、段階的に自主学習の進め方を指導することで、取り組みを充実させていきたい。